令和6年 10月31日 <木曽川水系イタセンパラ保護協議会> 環境省中部地方環境事務所 国土交通省中部地方整備局 木曽川上流河川事務所

お知らせ

参加者募集「イタセンパラの勉強会」

1. 概 要

生物の保全に関心のある方を対象に「イタセンパラの勉強会」を開催します。 絶滅危惧種で国の天然記念物であるタナゴの仲間の淡水魚「イタセンパラ」について、木曽川での イタセンパラの生息環境の改善事業、保護増殖事業、地元での保全活動の取組等について学び、イタ センパラの保全と私たちの生活との関わりについて考えたいと思います。

現在、参加者を募集しておりますのでお知らせします。 **<参加費無料*>** ※東山動植物園の入園料(高校生以上 500 円)は別途必要となります。

2. 開催日時・場所・内容等

令和6年11月16日(土) 13:00~16:00 名古屋市東山動植物園 世界のメダカ館 メダカホール

イタセンパラセミナー、イタセンパラ飼育施設見学

内容、参加申込方法の詳細は、別紙概要書及び添付の参加者募集チラシを御参照ください。 参加者募集チラシ・申込書は、中部地方整備局 H P 記者発表資料(令和6年10月発表分) (https://www.cbr.mlit.go.jp/kisya/kisyalist/2024/10)及び中部地方環境事務所の H P (https://chubu.env.go.jp/topics_00184.html) からもご覧いただけます。

3. 添付資料

- ・概要書:「イタセンパラの勉強会」について
- ・「第15回 イタセンパラの勉強会」参加者募集チラシ、申込書

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、一宮日刊記者会、羽島記者クラブ

5. その他

- ・希少種の詳細な生息地域等の情報、個人情報保護法に抵触するもの等については、 非公開とさせていただきます。
- ・発表内容について、映像の保存や音声の録音といった行為は禁止とさせていただき ます。

6. 問合せ先

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課 課長 村井 智宏

^{外来生物} _{企画官} 藤田 朝彦 tel:052-955-2139

国土交通省 中部地方整備局 河川環境課 課長 後藤 功次

課長補佐 船戸 総久 tel:052-953-8151

| 概要書 | 「イタセンパラの勉強会 | について

「イタセンパラ」は、日本固有のコイ科の淡水魚で、二枚貝に卵を産むタナゴの仲間です。本種は国の天然記念物、また国内希少野生動植物種に指定されている希少種です。

イタセンパラは現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域のごく限られた場所にしか生息しておらず、生息環境の変化や、密漁などの人為的な影響もあって個体数が減少傾向にあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」(地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記)では、イタセンパラの生態などを地域の方々などに御理解いただき、連携した取組を進めていくことを目的として、毎年「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第15回となる今年の勉強会では、座学によるイタセンパラセミナーとイタセンパラの生息域外保全を行っている飼育繁殖施設である東山動植物園世界のメダカ館のイタセンパラ飼育施設見学を企画いたしました。

イタセンパラセミナーでは、環境省より生物多様性の保全と希少種保護について、国土交通省から木曽川での生息地の環境整備等の取り組みについて説明します。また、東山動物植物園の水野技能長より東山動物園世界のメダカ館でのイタセンパラや希少淡水魚の保護増殖に関する取り組み、地元高校生による活動について紹介します。イタセンパラ飼育施設見学では、館内での繁殖作業・二枚貝の飼育について見学して頂く予定です。

木曽川の宝である「イタセンパラ」について勉強できる貴重な機会ですので、ぜひ御参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書(本資料の最終ページ掲載)により、応募してください。

< 木曽川水系イタセンパラ保護協議会(H22.3.9 設立、H30.3.5 改正)の概要 >

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、学識経験者、関係機関及び地域住民が協働して、下記の活動を行っております。

【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの生息域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

【構成機関】

学識経験者:池谷 幸樹(世界淡水魚園水族館)、上原 一彦(大阪府立環境農林水産総合研究所)、北村 淳一(三重県総合博物館)、久保 禎子(一宮市 活力創造部 博物館管理課)、永山 滋也(岐阜大学 環境社会 共生体研究センター)、森 誠一(岐阜協立大学 地域創生研究所)、森 照貴(土木研究所 自然共生研究センター)、山崎 裕治(富山大学)

関係機関:文化庁文化財第二課、愛知県(自然環境課、文化芸術課 文化財室)、愛知県警察本部 生活経済課、岐阜県(環境企画課、文化伝承課、水産研究所)、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市 生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動植物園、世界淡水魚園水族館

事務局:環境省中部地方環境事務所野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所



容:①イタセンパラセミナー「木曽川のイタセンパラと生物多様性保全について」

• 「イタセンパラと希少魚類の保護増殖」

名古屋市東山動植物園 水野 展敏 氏

「木曽川の生息域内における取組み」

国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課

「生物多様性と希少種の保全」

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課

• 「地元高校生による活動」

愛知県立一宮高等学校 生物部

岐阜県立羽島高等学校

②イタセンパラ飼育施設見学(小雨決行)

員: 40名(申込み多数の場合は抽選となります)

参加費: 無料(ただし、東山動植物園の入場料が別途必要です。)

象: 小学生高学年以上(高校生の参加大歓迎です。)

※参加申込方法については、裏面をご覧ください。



会場交通案内

木曽川にすむ希少魚「イタセンパラ」ってどんな魚?

イタセンパラ (コイ科タナゴ亜科)は、生きた二枚貝類のえらの内に産卵する日本固有のタナゴ類の1種です。分布は濃尾平野を含む 国内3地域に限られ、いずれの地域においても絶滅が危惧されており、国の天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。 かつては広く生息していたと考えられる濃尾平野の中でも、現在の確認箇所は、木曽川中流部のごく一部のワンドに限定されています。



主催:木曽川水系イタセンパラ保護協議会 【お問い合わせ先】

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課(tel:052-955-2139) 国土交通省 中部地方整備局 河川環境課(tel:052-953-8151)

FAX 送付先 052-218-0667

- ■申込方法及び申込先
 - ①メールの場合は、

申込内容を記載し、件名を『イタセンパラの勉強会参加申込』として、itasenpara@kensetsukankyo.co.jp まで送信してください。

- ②FAX の場合は、 この申込書に記入して、052-218-0667 まで FAX してください。
- ③はがきの場合は、返信用の宛先を記載した往復はがきに申込内容を記載し、下記まで郵送してください。

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-20-27 御幸ビル 5F (株)建設環境研究所

第 15 回イタセンパラの勉強会事務局 宛 〆切 11 月 12 日(火)必着

※応募や参加方法に関するお問合せ先: (株)建設環境研究所 TEL052-218-0666 担当:加藤、林または上記①のメールアドレスまで

■参加申込内容

| 連絡先(代表者) | |
|----------------|--------------------|
| ① 氏名 | |
| ② 住所 : | ₸ |
| | |
| ③ 電話番号 : | |
| ④ FAX 番号 : | |
| ⑤ Email アドレス : | |
| ⑥ 参加人数 : | 大人 名 、 小人(中学生以下) 名 |
| ⑦イタセンパラ保証 | 護に関する取組への御意見 : |
| | |
| | |
| | |

※参加申込に関わる個人情報は、勉強会以外には使用いたしません。

■定員:40名(申込み多数の場合は抽選とさせていただきます)